



AA日本ニューズレター

AA 日本ゼネラル・サービス・オフィス TEL 03-3590-5377
 ☎171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 4F FAX 03-3590-5419

〒100-91
 東京都中央郵便局
 私書箱 916

No.76

《グループの良心を評議会へ》

—— AA 第4回評議会を終えて ——



東北地域の評議員選出は、北東北（青森、秋田、岩手）南東北（山形、宮城、福島）2ブロックの千鳥方式により行なわれてきた。

昨年（1998年）は北東北のメンバーが候補の対象であった、私自身ブロック分けで言えば南東北在籍であり、オフィスに近いことから例年のごとく選挙管理委員会の裏方をやらせてもらっていた。第1回受付締切り時立候補者ゼロ、第2回時同じくゼロ、第3回締切りを、2日後に控え音沙汰なし、正直今回は評議員見送りかとさえ思えた。急遽、選管委員長、地域委員長と2名の評議員の話し合いにより、今回については北と南の枠を取払い南東北のメンバーにも呼びかけることになったが、締切りは勿論集会まで日程がなく、北東北選出の評議員の推薦の白羽の矢が私に立ち、1999年度前期評議員となった。

これが私の評議員として第4回評議会に出席するに至った経過である、野球で言えばピンチヒッター、指名打者ほどカッコよくないがそんなものである。

評議会での貴重な経験を書く前に、私が選出されるに至った経過について書かせて貰ったのは、評議員としての現在の自分とどう向き合うかという問題と関わっているからであり、他意はない。

1999年2月12日午前6時過ぎ、東北新幹線東京行きに乗車仙台を出発した、失職、離婚そして酔っ払って乗ってきた新幹線仙台行きから15年の時が流

れていた。評議員経験の仲間から缶詰め状態の討議から討議で大変だぞ、という脅しとも励ましともつかぬメッセージを貰ってきただけに、乗物に乗ったらず一杯と言う現役当時の思いに捕われることなく、それなりに緊張していた。

評議会初日、あまり出歩かない私にとってはほとんどが知らない顔である、知った顔を見つけるとホッとするが、始めて参加したイベントでうろろうしていたかつての自分の気弱さが見え隠れし、この先どうなるのかと言う心細い思いがしたことも事実である。評議員会、オリエンテーション、全体会議と日程が進むにしたがい次第に落ち着いてきたが、今度は審議事項、サービスマニアル等の不勉強が気になり、年のせいにしたり（58歳）疲れのせいにしたりと言い訳づくりをしなから議場に座っていた。

（現在でも評議員は私より若いほうが良いと思っている）

2日目、いよいよ本格的な審議が分科会を中心に始まった、私の所属分科会は議事委員会である。先輩評議員が「一番忙しい、なんでもやの分科会」と言ったが、なるほどそのとうりであった。事務局から議案が送られてきたとき、それを理解するのに困惑したが、評議会初日で大分整理され楽にはなった。しかし全体サービスを進めていく上でAAの基本となる部分の討議、次年度を見据えた作業が評議会終了後も継続されていく。つい先日も事務局会議があり出席させて貰ったばかりであるが、事務局そしてボランティアの仲間達に改めて敬意を表したい。2日目終了も22時過ぎ、あまり喋らない私が疲れたのだから、議長をはじめ余計喋った人は疲れだろうなと思いつつベッドに入った。だが後で知ったのだが、本当に疲れたのは私たち評議員ではなく各分科会、全体会議の書記を担当してくれた仲間たちだった。おかげでよく眠れた。

3日目、2日目に続き分科会提案事項の採決のための全体会議、そして午前11時第4回全国評議会終了。

その後、13時～15時評議委員会が開催され、テーマ「評議員会を全国評議会日程に」を採択し、事務局、議事委員会に提案を決め、全日程を終了した。

帰仙途中郡山Gのミーティングに参加、評議会情報を伝える。私の担当地区は福島、宮城、山形の南3県、福島、宮城各地区委員会に出席、報告させて貰ったが山形はまだしていない。また東北見聞録には評議会速報を掲載（第1報前期、第2報後期で分担）報告を行なったが、「グループの良心を評議会へ」という意味では不十分なものであり、前期評議員として評議会を終えた今、あなたはどう行動すべきだと考えますか、が事務局の求めた今回のテーマだとすれば、的の外れた文章であるかも知れない。しかし突然のピンチヒッターというのは、ウォーミングアップ出来ていないことが多い。今回の私の評議員がそうである。確かに地域委員、オフィスのボランティア等、サービスに関わる機会は多く与えられたが評議員と言うのはどうも違

ようである。アメリカ・カナダの評議員選出のやり方を聞くと評議員資格者夫々の意思により立候補を決めて選出されると言う。言い換えるとウォーミングアップが十分なされている状態で評議員と言う役割につくと言える。

私自身の非力を語るつもりはない、ピンチヒッターであるかレギュラーであるかを問うつもりもない。今はただ与えられた役割として評議員であることを自覚し、行動していきたいと願っている。

最後に評議会報告書の後期評議員のカントリーレポートにもあるように、東北の地域性からくる種々の問題、その為にやるべきことも多々あり、AAのプログラムを与えられ、サービスへの関わりが回復への大きな導筋であるかぎり、私に出来ることはしなければならぬと考えます。そしてなによりも今年はピンチヒッターを必要としない、自らの意思で立候補したメンバーによる評議員選挙であってほしいと祈っています。

《グループの自立はAAの自立》



第4回評議会が終了し、早速、九州地域委員会が開催され、40余名のメンバーが参加し、臨時集会のような雰囲気ですら緊急報告を致しました。

追って、4月福岡地区パブリックM、5月地域集会において、評議員2名から徹底的に、具体的に現状報告と今後の万策を訴えかけました。全体サービスとして、まだ苦しんでいる人々へ愛の手を届ける為、今必要なことはなんであるのか？JSOの財務状況を考える時、地域がやれることは、つまり、各グループのメンバーに対し、足を運びAAの原点を全員で考えていただく手助けをすること。

営業マンなどと、サービスガイドにふさわしくない言葉であることは、重々承知の上で.....論評だけではどうにもならない！！.....それに、つり合うだけの実績をと思ったのが、私が評議会を回顧した現在の本音

なのです。

自分自身、何とも、もどかしい思いを、九州各地の様々なイベントの度毎に、メンバーに伝え、全てのグループが快く理解されていることは確かであります。もちろん全国のグループが同じ気持ちであろうと期待するとともに、メンバー一人一人にもその気持ちが必要だと考えるのです。

そこで、誰でも気づくはずである具体案を、九州で出し諮っております。内容は、AA日本の台所の年間収支のアンバランスを黒板に書き表し、その解消方はひとつしかないことを力説しています。

現在のメンバー数からおおよそ2000人のご協力が得られればよいのです。(ミーティングにつき1回200円の増額.....月に8回のミーティングで1600円になります。これが2000人分で32万円になり年間の献金が384万円となります。)

この案を一時的なものでなく、継続してゆけばJSOの必要経費に平衡すると考えられる。

書籍、BOX等の収支は、そのまま毎年の活動に充当して、「伝紘5」と「ステップ12」の実行を続けて行く。

AAの一体性、回復という先人の恩恵に宿り「みんなで渡ればこわくない」という安穩な群衆意識の中(うち)でも、絶対にエネルギー源(資金)は必要なのです。今、赤字とか厳しい財政とか言っておりますが、本当

の赤字とは三度の飯が食えない時です。今は贅沢をしています。

この事を全国のメンバーと一緒に考えると共に実行しましょう。手をこまねいていても、お金は湧いて出るものではなく、グループの良心という名のポケットからしか出ないものです。お寺の地蔵さんにお供えしたつもり.....それがAAの思う信仰?.....でどうでしょうか。

私たちがしらふになるためには、「特別」な力を得たのです。J S Oに少し献金を増やしたからC Oの献金が減るとい現象が起きるとすれば「特別」と言う言

葉が意味をなしません。

この「特別」の代わりにする今回の九州ワーキングは一時しのぎではないのです。私たちは酒をやめた...だけではないのです。正気になるということは、ほんの少しばかりの税金がかかるということでしょう。今のまま何の手もたなければどうなるのでしょうか? そんな悠長な気分ではられません。

微力ながらも、私の責任を果たそうと思います。是非、皆様のお力をいただきたいと思います。

九州・沖縄地区前期評議員 松尾

1999年第1四半期監査報告

1999年度第1四半期の監査を行ったので報告する。

現預金の確認、予定収入に対する実際収入の確認、予定支出に対する実際支出の確認、未収金の調査および個人別業務分掌の有無等の内部監査を合わせて実施した。

(現預金について)

現金	882,981円
銀行預金(八千代銀行)	56,073円
(住友)	55,073円
(シティ銀行)	498,726円
(立教郵便局)	389,453円

以上の現預金に差異のないことを確認した。

(献金について)

本年度の献金予算額は 15,680,000円
(月額1,307,000円)である。

しかし1月	852,878円
2月	889,381円
3月	1,297,473円

と約90万円の差異が早くも生じている。年末年始で出費が重なる時期でもあり、少し経過を見ることがしたい。

(書籍の頒布について)

書籍頒布は17%と低迷している。

書籍のうち財務委員会が期待しているのは、価額を3,500円から1,800円に引き下げたビッグブックの動きである。

J S O、常任理事会、評議会、および関東地域委員会の各委員会のみなさまにはビッグブックをバイブルとして活用した経験を分かち合う機会を設け、ある程度の時期がきたら身につけるようなご提案が必要かとおもわれる。広報や文書委員会の重要かつ緊急の課題でもあろう。是非お願いしたい。

(支出について)

進行度は25%であるので、これを超えた勘定科目は、法定福利費36.7%水道光熱費26.6%事務機器費82.6%評議会運営費39.4%印刷製本費30.0%通信運搬費31.4%国際会議



活動費34,5%雑費28,2%である。
各費用の領収書のチェックは問題ないが今後の発生については、実施計画をあらかじめ財務に提出し、予算全体に大きく影響しないような配慮も必要と思われる。

(未収金について)

未収金の調査の結果、約7万円を越す個人の一件分が回収不能とみられる。グループにアプローチしてみたが個人的なものとして責任がもてないとの事今期中には処理をお願いしたい。
再発を防ぐ意味で領布等は前受け処理の厳守をお願いしたい。グループも例外ではない。造るのも自由であり、なくすのも自由であるから。
例外は、地域および地区のもよおし、専門家への少量の領布にとどめる。

(内部監査について)

いま社会は不況のどん底にあり、従来のやり方がまったく意味を持たなくなっている。J S Oの業

務分析を行い、職員の皆様に本当にお願いする業務を明確にする時期かとおもわれる。
そのためにも職員の皆様の業務分掌作成に本年度から着手することをご提案したい。

常任理事会委嘱会計監査 森

評議会事務局よりのお知らせ

第4回評議会報告書の記載に誤りがありました。
P・7:評議会委員会の所属についての所信について
誤り

前期評議員:松尾(九州)浜辺(関東)

正

前期評議員: 浜辺(関東)松尾(九州)

P.169,

誤り

6,000×(人数)

正

60,000×(人数)

以上の通りですでお手元の報告書の訂正をお願いします。
す。たいへんご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

AA新刊出版案内

AAグループ

《すべてはグループから始まる》

そもそもAAグループはなんなのか。

ミーティングはどのような種類のものがあり、たとえば特別ミーティングはどう扱うのか、グループとしての役割をどう果たせばよいのか、またグループの中のいろいろな係を引き受けたメンバーは何をすればよいのか、AA全体が存続するためにグループとして何をしたら.....などのヒントに

翻訳改定A6版66ページ領布価格 500円

スポンサーシップ Q & A

なぜスポンサーシップが大切であり、また必要なのか。スポンサーを求めている人にも、スポンサーをしたいと思っている人にも、また、スポンサー活動に取り組もうとしているグループにも大変役立つパンフレットです。

翻訳改定A6版44ページ領布価格 300円

発行所 AA・J S O内 AA日本出版局

